

自然科学研究機構国立天文台 特任研究員（年俸制職員、研究課題「宇宙再電離期におけるダスト形成の系統的調査」）募集

【募集人員】 特任研究員 1名

【職務内容】

国立天文台アルマプロジェクトでは、日本国内の大学に在籍する研究者に ALMA を用いた科学研究を推進していただくため、「ALMA 共同科学研究事業」を設立しました。ALMA 共同科学研究事業については、以下を御覧ください。

[https://researchers.alma-telescope.jp/j/support\\_programs/almagrant/](https://researchers.alma-telescope.jp/j/support_programs/almagrant/)

本事業に基づき、ALMA の観測データ（アーカイブを含む）を用いた研究課題「宇宙再電離期におけるダスト形成の系統的調査」を推進する特任研究員を募集します。本研究課題の採択者である広島大学・稲見助教の下、本特任研究員には本研究課題に100%集中できるよう雑務等の義務なく研究活動を推進すると共に、年1編以上の投稿論文の出版と ALMA プロポーザルも積極的に提出していただきます。また、本研究課題を推進する場合に限り、学生の研究等への指導・支援を行うことが可能です。

【研究課題】

- ・ 研究課題名：  
（和名）宇宙再電離期におけるダスト形成の系統的調査  
（英語名）A Systematic Study of the Dust Build-up in the Epoch of Reionization
- ・ 研究概要：  
最近  $z > 6.5$  の大質量銀河が見出されたことで、宇宙誕生直後のたった数億年の間に大質量の銀河がどのようにして生まれ、重元素やダストが生成されたのか、といった積年の疑問が再度脚光を浴びている。我々が率いる ALMA 大型プログラム Reionization Era Bright Emission Line Survey (REBELS) では、[CII] や [OIII] 輝線とダスト連続光を 30-35 個の大質量遠方銀河( $z > 6.5$ )で系統的に検出し、既存のサンプル数を 5 倍以上に増やした。本研究では、REBELS で既得の遠方銀河( $z > 6.5$ )の統計的サンプルを用いるとともに、ALMA を中心に適宜フォローアップ観測を行うことで、初期宇宙銀河でのダスト生成のプロセス、ダストの性質、およびダストの成長過程を明らかにする。

【所属（勤務地）】 広島大学（広島県東広島市）

※ 国立天文台で採用し、同日付で広島大学と国立天文台で在籍出向契約を結び当該大学へ出向していただきます。

【身分・待遇】

- ・ 給与は年俸制。月額 35 万円を毎月支給。
- ・ 通勤手当を支給（上限 55,000 円/月）
- ・ 健康保険（文部科学省共済組合）、年金（厚生年金）、雇用保険および労災保険に加入
- ・ ボーナス、退職金の支給はありません。
- ・ 敷地内禁煙

（出向時の勤務条件）

- ・ 勤務時間及び休日については、広島大学の諸規則を適用します
- ・ 週 5 日（月～金）裁量労働制勤務（土、日、祝日、年末年始は休日）
- ・ 有給休暇（年次有給休暇、リフレッシュ休暇、忌引他）あり

【着任時期】 原則として令和3年10月1日（交渉可能）

【契約期間】

- ・ 本特任研究員の契約期間は原則2年間ですが、本研究課題は、本特任研究員の着任から1年半経つ日までに中間審査が実施され、その結果、契約期間が1年間延長されることがあります。
- ・ ただし、平成25年4月1日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、平成25年4月1日以降の通算雇用期間が10年を超えないように契約期間が設定されます。
- ・ 採択者が他大学または他機関に異動された場合、一緒にその大学または他機関に異動していただくこととなりますが、異動先で本特任研究員を受け入れることができなかった場合、就業場所を国立天文台（東京都三鷹市）として研究を継続していただくこととなります。

【応募資格】 関連分野で博士の学位を有するか、それと同等の研究能力を有する者。

※国立天文台プロジェクト研究員としての通算雇用期間が5年を超える方はご応募いただけません。

【提出書類】

- ・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てをPDFに変換して、応募締切までにメール添付で下記アドレス宛にお送りください。  
alma-grant-application\_atmark\_ao.ac.jp（\_atmark\_を@に置き換えてください）
- ※ PDF作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなり過ぎないようにしてください（メール一通につき最大10MB程度まで）。
- ※ 電子メールの応募を受領した場合、確認のため受領のメールを返送します。受領のメールが祝休日を除く2日以内に返送されない場合、上記アドレス宛にお問合せください。
- ※ メールの件名（Subject）には、応募する研究課題名を明記してください。

・ 提出書類

- (1) カバーレター（研究課題名を明記すること）
  - (2) CV
  - (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は応募者の役割分担を記すこと）
  - (4) 主要論文3編以内のPDFファイル
  - (5) 職務に対する抱負と計画
  - (6) 推薦書2通以上（推薦書は、推薦者が応募締切までに提出先に直接送ること）
  - (7) 速やかに連絡できる本人連絡先
- ・ 応募締切： 令和3年4月5日(月)より審査開始。都度選考を行い採用枠が埋まり次第終了。最終締切は令和3年5月14日(金)日本時間15:00まで応募を受付。

【採用の決定】

国立天文台有期雇用職員等審査委員会での承認が必要となります。

【問合せ先】

- ・ 応募に関する問合せ：  
国立天文台 事務部総務課人事係  
E-mail: JobRegister-contact-10\_atmark\_nao.ac.jp（\_atmark\_を@に置き換えてください。以下同様。）
- ・ 研究内容に関わる問合せ：  
広島大学 宇宙科学センター 稲見華恵 助教  
E-mail: hanae\_atmark\_hiroshima-u.ac.jp
- ・ その他：  
国立天文台 アルマプロジェクト ALMA 共同科学研究事業担当  
E-mail: alma-grant\_atmark\_alma.mtk.nao.ac.jp

【その他】

- ・ 面接をオンラインで行う場合があります。なお、面接に要する費用は応募者の自己負担となります。
- ・ 科学研究費等の外部資金獲得は可能ですが、研究課題に即した内容であるかどうかを国立天文台アルマプロジェクトが判断した上で認められることとなります。
- ・ 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。国立天文台の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの詳細は<https://www2.nao.ac.jp/~open-info/gender-equality/> を御覧ください。
- ・ 本事業で採用された特任研究員は、以後、国立天文台の特任研究員（プロジェクト研究員）への採用が制限されます。詳細はお問い合わせください。
- ・ 応募に際していただいた情報は、この選考および事務連絡以外のいかなる目的にも使用いたしません。選考後、採用に至った方以外の応募書類は責任をもって破棄します。

以上